

第 58 回 福島支部評議会の概要報告

1. 開催日時

平成 31 年 1 月 17 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 10

2. 開催場所

NBF ユニックスビル 8 階第 1 会議室

3. 出席者

【評 議 員】上石評議員、伊勢評議員、大村評議員、吉川評議員、藤原評議員 (議長)、村上評議員、渡邊評議員 (五十音順)

4. 議題

- (1) 平成 31 年度福島支部保険料率について
- (2) 平成 31 年度福島支部事業計画案・予算案について
- (3) 平成 31 年度インセンティブ制度について
- (4) その他

5. 議事概要

【定足数について】

事務局より評議会には評議員 9 名中 7 名が出席、全国健康保険協会評議会規程第 6 条により、「本評議会は有効に成立する」旨の報告があった。

【議題について】

事務局より資料に基づき説明が行われ、議長が各評議員に質問・意見を求めたところ、以下の議事のとおりとなった。

(1) 平成 31 年度福島支部保険料率について

- 評 議 員 福島支部評議会としては当初より平均保険料率の引き下げの要望を出していたが、平均保険料率 10%維持を前提として議論が進められたことは誠に遺憾である。
- 評 議 員 31 年度収支見込みについて、5 年収支において見込んでいた収支差と直近の収支見込みの収支差が上振れしている要因は何か。
- 事 務 局 大きな要因としては、大規模健康保険組合の解散、診療報酬のマイナス改定や退職者給付拠出金の減少が挙げられる。なお、協会けんぽは、安定的な財政運営を求められていることから、ある程度固く収支を見込まなければならず、10 兆円近い協会けんぽの予算規模を考えれば、ある程度の上振れはやむを得ないものとする。
- 評 議 員 保険料収入の大きな要因となる被保険者の標準報酬月額が増加しているのか。
- 事 務 局 標準報酬月額はリーマンショック以降落ち込みが見られたが、現状では協会設立時の水準を上回っている。なお、全被保険者の標準報酬月額の平均を用いる任意継続被保険者の標準報酬月額の上限について、協会設立以来 28 万円であったが、来年度からは 30 万円に引き上げられる。
- 評 議 員 資料から、被保険者の増加、標準報酬月額が増加に加えて、賞与も含めた総報酬額の増加という協会けんぽの収支に対するプラスの要素が見て取れる。
- 評 議 員 被保険者の増加の要因として、女性や高齢者の就業率の増加も考えられるのではないか。
- 事 務 局 いずれも要因としては考えられるが、合わせて短時間労働者の適用拡大が挙げられる。

議 長 平成 31 年度の福島支部保険料率については、資料のとおり承認する
ということによろしいか。

(評議員 承認)

(2) 平成 31 年度福島支部事業計画案・予算案について

評 議 員 平成 31 年度事業計画において福島支部の特徴的な取り組みは盛り込
まれているのか。

事 務 局 特徴的な取り組みとしては、東日本大震災による医療費免除対象者へ
のジェネリック医薬品使用促進の働きかけや、職場における健康意識
の醸成を目的として、社員の健康づくりに役立つ内容を盛り込んだ冊
子を全事業所へ配布する事業を予定している。その他では、インセン
ティブ制度における各指標項目、KPI 目標達成に向けた取り組みを盛
り込んでいる。

評 議 員 レセプト点検の外部委託の廃止について、その理由は何か。

事 務 局 事業効果等を検証の結果、本年 1 月より外部委託を廃止した。福島支
部においても、レセプト点検員の方が高い実績を上げていたことから、
協会のノウハウを活用し、内容点検効果のさらなる向上に努めていく。

評 議 員 事業者健診データの取得率の目標が 8.2%とあるが、算出の際の分母
は特定健診の対象者（40 歳以上）という理解によろしいか。

事 務 局 ご理解のとおり。

- 評 議 員 ジェネリック医薬品使用割合の KPI に関連して、DPC レセプトとはどのようなものか。
- 事 務 局 各診療行為の点数の足し算によって、全体の診療報酬が決まる一般的な出来高方式とは異なり、特定の入院医療を対象として診療点数を疾患ごとにグルーピング（包括）して考え、診療報酬を決めていく方法のことである。
- 評 議 員 平成 31 年度は「健康事業所宣言」事業所に在籍する被保険者に対して健康づくりに関する冊子の配布を予定しているとのことだが、非宣言事業所に在籍する被保険者に対しても希望する場合は配布することはできないのか。
- 事 務 局 平成 31 年度は宣言事業所に在籍する被保険者のみを対象とする。非宣言事業所に在籍する被保険者まで拡大することは、32 年度以降の事業で検討していきたい。
- 議 長 平成 31 年度の福島支部事業計画・予算案については、資料のとおり承認するというところでよろしいか。
- (評議員 承認)

(3) 平成 31 年度インセンティブ制度について

- 評 議 員 佐賀支部等、実績が上位の支部の取り組みを参考にし、積極的に取り入れて欲しい。
- 事 務 局 佐賀支部の各指標をみると、指標 4（要治療者の医療機関受診率）が突出して高いことがわかる。取り組み等参考にしていきたい。

(4) その他

意見等特になし